

## 「WHO実施事業：伝染病に備えた机上訓練」

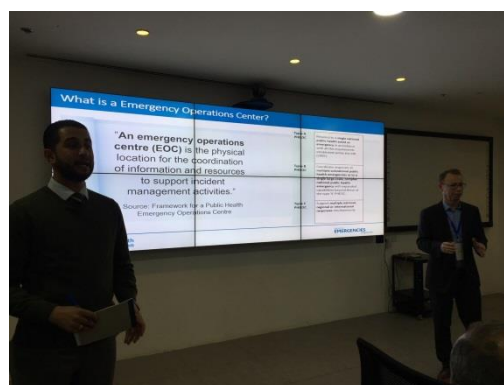
2018年1月28日、多田公使参事官、ファイエズ保健省次官、クリスティーナWHO代表の立ち会いの下、日本政府の支援を受けてWHOが実施中の事業（ヨルダン北東部ルワイシッド病院におけるシリア難民、亡命希望者、脆弱なヨルダン人に対する医療サービス支援：324,725米ドル）の一環で、「伝染病に備えた机上訓練」がヨルダン保健省にて開催されました。

隣国においてコレラ等の伝染病が流行する中、ヨルダンへの伝染病の流入に備え、保健省の緊急事態対応能力の強化が必要とされており、WHO及び各国の専門家を招き、ヨルダンで初となる「伝染病に備えた机上訓練」が実施されたものです。今回の訓練を通して、保健省の緊急事態対応計画の問題点が洗い出され、今後の同計画の改善に活用される予定です。

多田公使参事官による挨拶



WHOによるプレゼンテーションの様子



訓練参加者との記念撮影

